



株式会社

エービーエム

2018年度

環境経営レポート (置賜総合文化センター)

2018年4月～2019年3月

発行日：2019年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



爽やかな笑顔、
真心のサービス



環境経営レポート部門



®環境省
エコアクション21
認証番号0011545



社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日:平成28年6月1日

最終改定日:令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社エービーエム
- 代表取締役社長 赤間 俊明

2-2. 所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 指定管理施設「置賜総合文化センター」：〒992-0012 山形県米沢市金池3-1-14

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口 浩之
- 施設環境管理責任者：加藤 恵美子
- 連絡先：Tel.0238-21-6111(代) Fax.0238-40-0631
- Email：info@okisou-bunka.jp

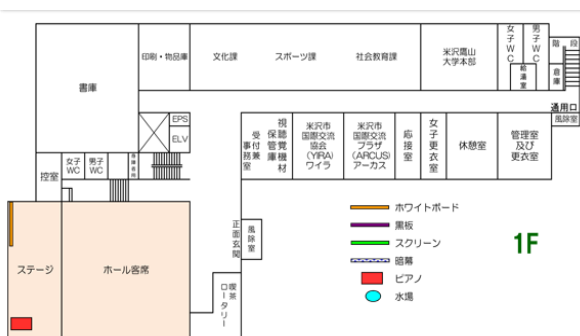
2-4. 施設概要

置賜総合文化センターとは、総合的な文化活動の拠点として、中央公民館、青年の家、視聴覚センターの機能を持つ施設で、社会教育、学校教育の要求をふまえ、文教都市米沢のビジョンとして、複合施設置賜総合文化センターが昭和50年に設置されました。文化センターは、それぞれの機能はもちろん住民の広域的、広範囲の学習要求に対し、また専門的な立場から調査、研究、資料や情報の提供等が行える社会教育の指導拠点として、生涯教育・学習のできる総合的な機能もあわせもった施設です。

【構造】 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建

【敷地面積】4,476.12㎡【建築面積】1,952.71㎡【延面積】6,490.3㎡

【竣工】 昭和50年5月31日



■ 常勤社員：12名（正社員3名、パート社員11名）※市職員を除く

2-5. 施設利用状況

事業年度	平成27年度 (H27.4~H28.3)	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)
事業規模				
施設利用人数(人)	88,032	48,167 ※2	64,128	65,296
使用料収入(円)※1	4,700,380	3,176,470	4,040,690	4,307,630

※1 使用料は利用料金制でないため、全て市に納入しています。

※2 市立図書館移転に伴い館内の改修工事で平成28年8月1日～10月31日まで施設の貸出停止
また、201研修室、203研修室、301研修室は平成28年7月15日～11月30日まで貸出停止

置賜総合文化センター コレクション



置賜総合文化センターは米沢市の中心地にありアクセス抜群です。



置賜総合文化センターの屋上から見える景色は絶景です。



毎年、グリーンカーテンを栽培しています。



置賜総合文化センターのシンボルツリーである「こぶしの木」とチャペルです。



3. 環境目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(平成30年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H28年度東北電力(調整後:0.548)を用いています。

1) 当施設における平成30年度のCO₂排出量は合計236,710kg-CO₂となっており、前年度比1.5%増加しました。これは平均的な一般家庭52軒分の排出量に相当します。(平成29年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,480kg-CO₂:出典:温室効果ガスインベントリオフィス)

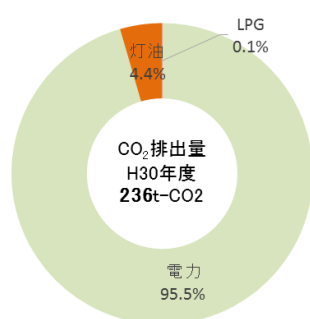
2) 当施設から排出されるCO₂の95.5%は電力の使用に伴うもので226,038kg-CO₂(前年比3.5%増)、次いで灯油の消費に伴うものが4.4%、10,466kg-CO₂(前年比27%減)などとなっています。

3) 電力は施設の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油はホールの暖房と浴室給湯用ボイラー運転で使用しています。LPGは調理室や理科研修センター、喫茶室で使用しています。

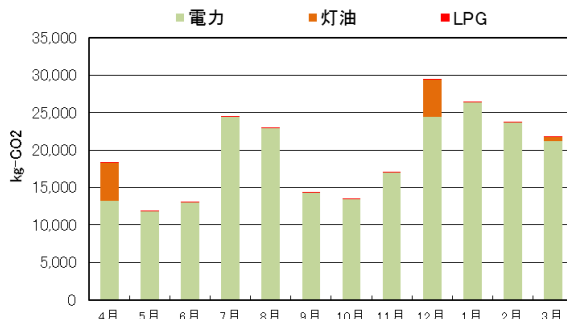
4) 月別のCO₂発生量は夏期間7月~8月、冬期間12月~3月に多くなっています。これは冷暖房で空調機を運転するためです。特に冬場は施設の断熱性や、空調機の老朽化に伴い、暖房使用時間が増加する傾向にあります。また空調機も不具合で集中管理が出来ないことで、空調の温度管理はお客様や同居する米沢市様となっています。

5) 以上のことから、電力使用量の削減が重点課題であります。当施設は竣工から40年以上を経過し、暖房効率が悪く、施設を温めるためには、長時間暖房を運転しなければならず、さらに集中管理できない今の空調機では使用量の大幅な削減は難しいため、空調機のリニューアルと、事務室などの照明器具のLED化を行政とともに実施していくことが必要であると思えます。利用者への周知とともに、同居する米沢市様にも省エネに御理解いただくことも必要です。

<二酸化炭素の排出源(H30年度)>



<月別二酸化炭素排出量(H30年度)>



■ 廃棄物排出量

■一般廃棄物:可燃ごみ、紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ゴミが最も多く3,456kg、次いで古紙・コピー紙が2,431kg、ペットボトルで172.8kgでした。リサイクル率は43.5%となっていました。

可燃ごみは利用者の持ち込みのゴミや文化センタースタッフ、米沢市職員のゴミの他、シュレッダーゴミで、個人情報の入った書類はシュレッダーをかけているためです。

■産業廃棄物:文化センターから排出される産業廃棄物は雑排水清掃時に発生する汚泥のみです。(当施設は蛍光灯は、米沢市のゴミの分別ルールに従い、不燃ごみで処分しています。)

■ 総排水量(水使用量)

上水のみ使用しており、年間4,446m³(前年度4,250m³)使用し、下水道に排出しております。昨年度より4%増加しました。用途は生活排水(トイレ、手洗い、シャワー、浴室)のほか、喫茶室での使用、花の水遣りです。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。

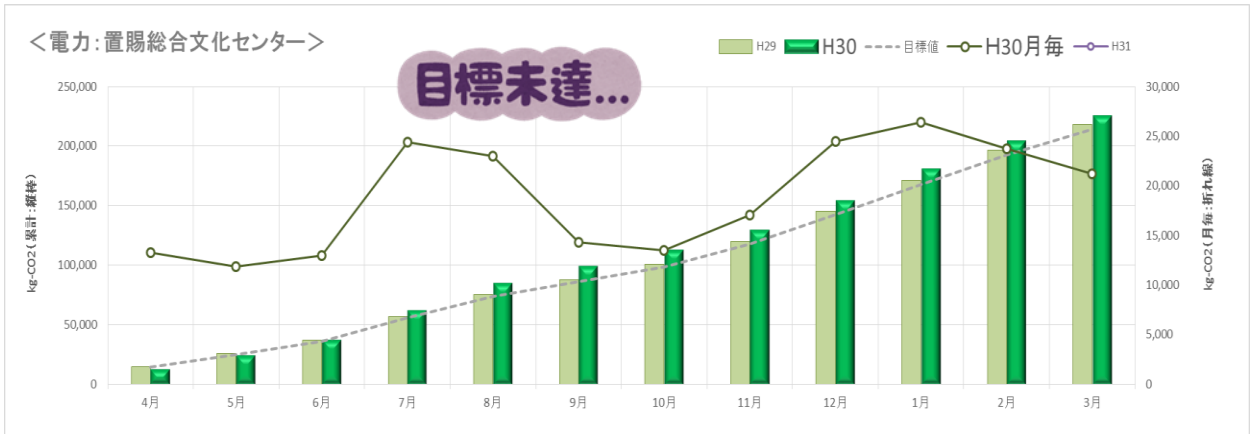


3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、二酸化炭素、廃棄物、水、グリーン購入について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

■ 二酸化炭素排出量（電 力）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

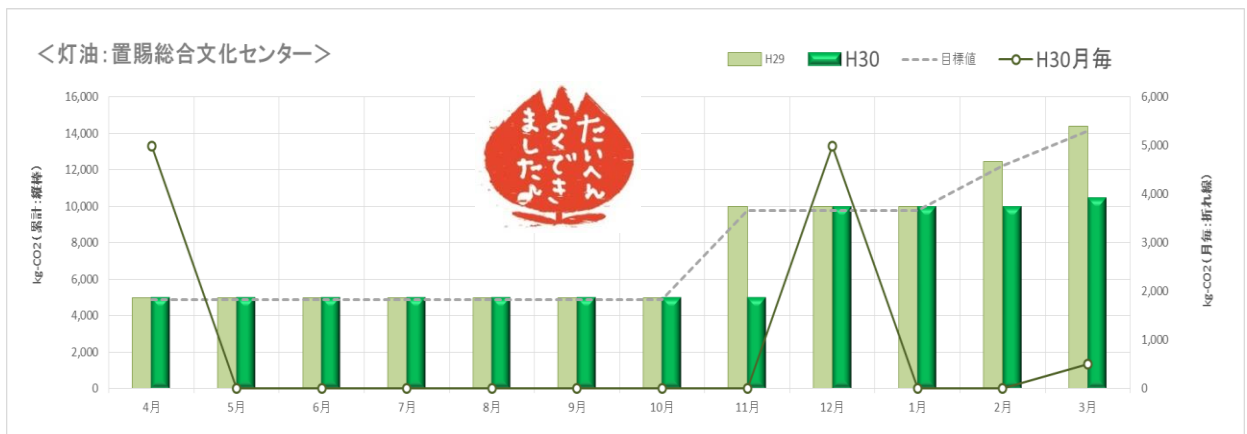
- 基準年度実績：218,353kg-CO₂
- 取組期間目標：213,986kg-CO₂
- 取組期間実績：226,038kg-CO₂
- 増減量：7,685 kg-CO₂
- 増減率：3.5%

【評価コメント】

昨年と比べると夏の猛暑(酷暑)のためホール、貸室において昨年より冷房使用時間が多かったことで前半は増加しました。後半は暖冬だったため暖房使用は減ったものの、トータルでは、目標を達成することはできませんでした。

■ 二酸化炭素排出量（灯 油）

【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 基準年度実績：14,403kg-CO₂
- 取組期間目標：14,115kg-CO₂
- 取組期間実績：10,466kg-CO₂
- 増減量：-3,937kg-CO₂
- 増減率：-27.3%

【評価コメント】

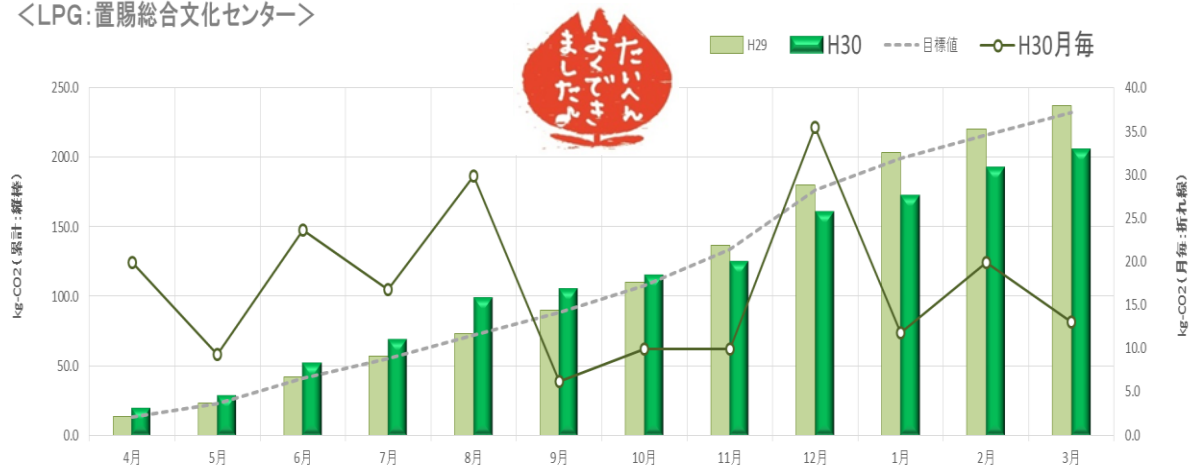
昨年度と比較して、合宿利用が減ったことで、風呂の利用が減少し、目標を達成することができました。

■ 二酸化炭素排出量 (LPG)

【H30年度目標】 H29年度比2%削減

【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減

〈LPG:置賜総合文化センター〉



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 237.4kg-CO₂
- 取組期間目標: 232.6kg-CO₂
- 取組期間実績: 205.7kg-CO₂
- 増減量: -31.7kg-CO₂
- 増減率: -13.4%

【評価コメント】

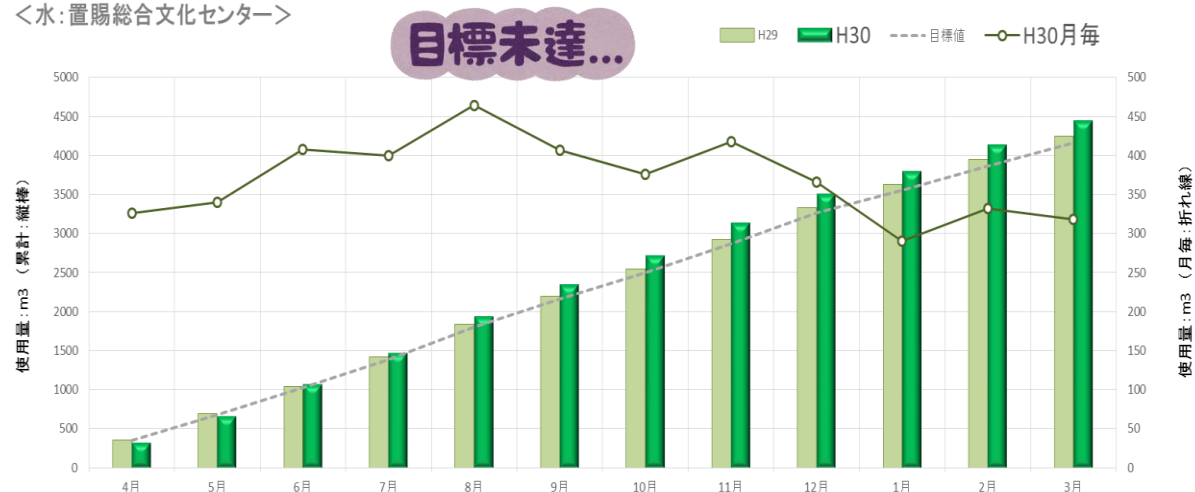
昨年度と比べると調理室の利用が増え、また理科研修センターでの研修が多かったのでガスの利用が増えましたが、後半喫茶室の臨時休業などで使用が落ち着き、結果的には目標を達成することができました。

■ 水使用量

【H30年度目標】 H29年度比2%削減

【中期目標 (H30~R4)】 H29年度比10%削減

〈水:置賜総合文化センター〉



【取組結果】 (取組期間: H30.4~H31.3)

- 基準年度実績: 4249.5 m³
- 取組期間目標: 4,165m³
- 取組期間実績: 4,446m³
- 増減量: +196 m³
- 増減率: +4.6%

【評価コメント】

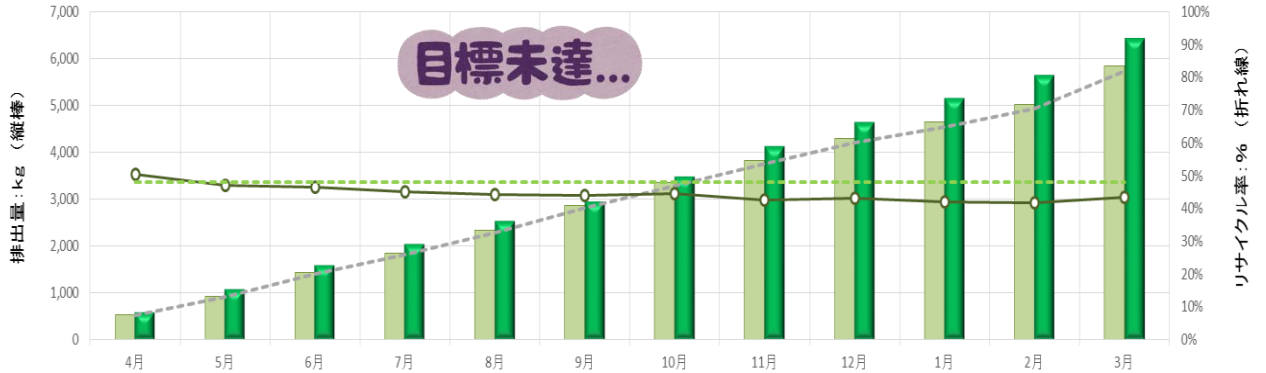
節水のポップを掲示し、利用者や市職員に対しても呼びかけて参りましたが、ホールの使用や合宿の使用、また冬期間の駐車場の消雪などにより、結果目標を達成することが出来ませんでした。

■ 一般廃棄物排出量

【H30年度目標】 H29年度比で排出量2%削減／リサイクル率2%向上
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比で排出量10%削減 リサイクル率10%向上

＜一般ゴミ/リサイクル率:置賜総合文化センター＞

■ H29 ■ H30 --- 目標値(排出量) ○ H30リサイクル率 --- 目標値(リサイクル率)



【取組結果】 (取組期間: H30.4～H31.3)

- 基準年度実績: 排出量 5,851kg リサイクル率 46%
- 取組期間目標: 排出量 5,734kg リサイクル率 48%
- 取組期間実績: 排出量 6,423kg リサイクル率 44%
- 増減量: 排出量 +572kg リサイクル率 -2%
- 増減率: 排出量 +9.8%

【評価コメント】

当初はゴミの分別や持ち帰りは徹底されてきているが、市職員の事務関係の廃棄物が多かったが、徐々に改善はされているものの、年末の大掃除でまた増加してしまった。後半では館内のゴミ箱を約45%撤去し、リサイクルボックスを改善しましたが、目標には届きませんでした。

■ 産業廃棄物排出量

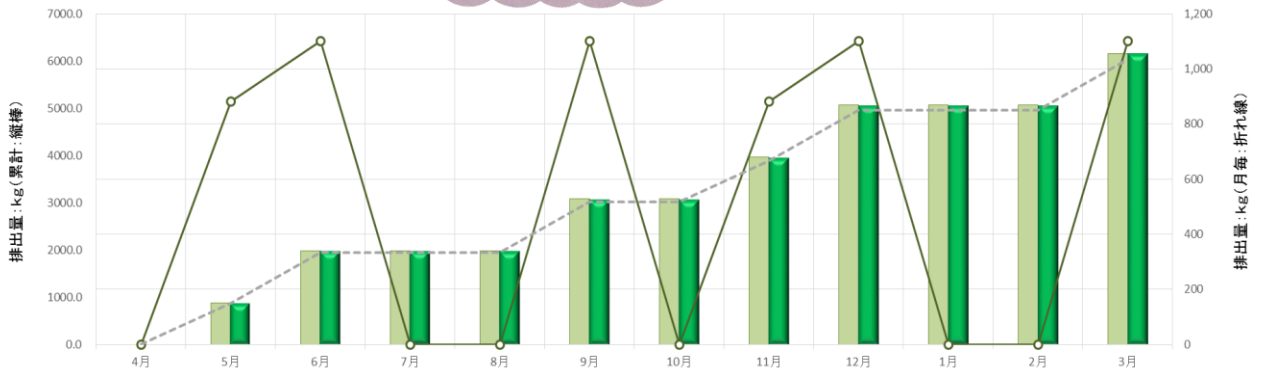
【H30年度目標】 H29年度比2%削減
 【中期目標（H30～R4）】 H29年度比10%削減を維持



＜産業廃棄物:置賜総合文化センター＞

目標未達...

■ H29 ■ H30 ○ H30月毎 --- 目標値



【取組結果】 (取組期間: H30.4～H31.3)

- 基準年度実績: 6,160kg
- 取組期間目標: 6,037g
- 取組期間実績: 6,160kg
- 増減量: 0kg
- 増減率: 0%

【評価コメント】

主な排出物は汚泥で、厨房の雑排水槽清掃時に出る汚泥で定量です。結果、昨年度と同じ排出量となり、削減はすることができません。したがって目標は達成できませんでした。(文化センターの場合は蛍光灯や乾電池は一般ゴミの不燃ごみで排出するので、こちらには反映されていません)

■ グリーン購入

【H30年度目標】グリーン購入率70%以上
 【中期目標（H28～32）】グリーン購入率80%以上

<グリーン購入:置賜総合文化センター>

■ H29 ■ H30 --- 目標値 ○ H30月毎



【取組結果】（取組期間：H30.4～H31.3）

- 取組期間目標：70%
- 取組期間実績：38%

【評価コメント】

事務消耗品を購入する際は必ずグリーン購入をするように徹底しましたが、そのほかの消耗品でグリーン購入対象外の商品を購入したため、昨年度よりは改善しましたが、目標に届きませんでした。

4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容

<評価判定の目安>

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正処置の必要性等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	△	△	△	△	
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	△	△	△	△	各事務室で使用
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	○	○	○	○	
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	○	○	○	○	
		■不要な照明は消灯	○	○	○	○	
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	-	-	-	-	
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	-	-	-	-	
		■パソコンは省エネモードで使用	○	○	○	○	
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	○	○	○	○	
		■グリーンカーテン	○	○	-	-	
	■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	-	-	-	-		
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	○	○	○	○	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	-	-	△	△	
		■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	○	○	○	○	
		■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	△	△	△	△	1F～3Fは設定不可能

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正処置の必要性等
の削減と適正管理	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■廃棄物置場の整理整頓	○	○	○	○	
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	○	○	○	○	
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	○	○	○	○	
		■一般廃棄物の排出量記録	○	○	○	○	
		■社内の整理整頓	○	○	○	○	
	■産業廃棄物の削減と適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	○	○	○	○	
■充電式乾電池への転換		○	○	○	○		
■マニフェスト・契約書類の管理		○	○	○	○		
の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の掲示	○	○	○	○	
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流量)	○	○	○	○	
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	△	△	△	△	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	○	○	○	○	
購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	○	○	○	○	
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	○	○	○	○	
(製品サービス関連)	■社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	○	○	○	○	業務社内検定、救急講習、CD研修
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	○	○	○	○	
	■誤発報による緊急出動回数を減らす	■開始開錠ミスを減らすように教育する。	○	○	○	○	
■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	○	○	○	○	チャレンジゴミ拾い参加	

多くの計画は実施することができましたが、一部未実施だった部分がありました。エアコンの温度管理については、ポップで掲示してはいるものの、機器トラブルで集中管理ができないため、お客様、市職員にお任せしているところです。

毎月1回以上実施しているスタッフミーティングの前に15分間、周辺の草むしりやゴミ拾いを実施いたしました。

6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成30年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- 大気汚染防止法：問題なし
- ボイラー及び圧力容器安全規則：問題なし
- 水質汚濁防止法(貯油施設)：問題なし(訓練未実施だったため、H30年度中に実施済)
- 下水道法：問題なし
- 消防関係：問題なし
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：問題なし(水銀使用製品産業廃棄物の掲示板設置済)
- フロン排出抑制法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし
- 米沢市環境マネジメントシステム：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。



7. 代表者による見直しの結果



平成30年度から、対象外であった指定管理施設がエコアクション21の取組に参加し、12月の更新審査において、指定管理施設の取組が評価され、無事更新することができ、これで全組織でエコアクション21の取組がスタートしました。

その中で置賜総合文化センターは、他の指定管理施設と違い、米沢市教育委員会や、市の外郭機関が入っているため、電気使用や水などの公共料金は全て市負担です。直接関わる職員の方はエコアクション21についての御理解をいただいておりますが、市の職員の方がエービーエムのスタッフよりも多く、公共料金は市負担であるため、なかなかイニシアチブが取れない状況の中、施設管理責任者を中心に、スタッフ全員が意識を持って取り組んでいることで、少しずつではありますが、エコアクション21が市の職員の皆様にも浸透してきているものと感じます。その結果として、昨年度実施したゴミ箱の一部撤去では、市の担当者にも協力いただき、スムーズに進めることが出来ました。今後について、環境目標とその実績でも記載していますが、この置賜総合文化センターは、竣工からまもなく45年を迎える施設で、空調設備のトラブルも毎年のように起こっているため、空調設備のリニューアル、そして、館内照明のLED化などを、積極的に市に提案していき、市の環境負荷低減に寄与して参ります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間 俊明

8. 環境コミュニケーションの取組



お客様をお迎えする玄関に環境掲示板を設置し、環境への取組をアピールしています。



CD研修会として「対面クレーム研修」に全スタッフで参加いたしました。

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。

置賜総合文化センターHP (<http://okisou-bunka.jp>)

指定管理者株式会社エービーエムHP (<http://www.y-abm.co.jp/>)

エコアクション21中央事務局HP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒992-0012 山形県米沢市金池3-1-14 Tel.0238-21-6111(代) Fax.0238-40-0631

Email : info@okisou-bunka.jp

